ヨコハマ路上ストリートライブ 2020

事業目的

持続可能な地域づくり、まちづくりには自然と社会環境との共生は時代の流れであります。横浜市からイノベーションを起こすとしたら、日本のどの大都市にも実現できていない「ヨコハマ路上ライブプロジェクト 2020」を開始することです。3 年後には、毎月 1 回の土・日曜日にヨコハマのまちでこの企画が受け入れられることを目指します。この企画を実現することで SDG s の「社会」の分野の中のジェンダー平等を実現し、音楽を通して自己表現しようとしている女性・若者に発表の「場」を提供することで、女性・若者の活躍を支援します。公共の認定制度と路上ライブを共に実現を目指す。

（事例１）ロンドンでは､若者が路上ライブを実施するための行政の認定制度があります。地下鉄の通路･駅の広場･市内の公園など､公共の認定制度を申請し､許可を受けた若者が、路上ライブを実施、市民や観光客の憩いの場になっている。

（事例２）東京都内でも「ヘブンアーティスト」という公共の場を使用するための、行政の認定制度があります。上野恩寵公園・江戸東京博物館・西武池袋本店水盤前・他

（事例３）規模は小さいが、札幌市・墨田区・柏市等にその輪が広がっている。

（その他）最近の著名な路上ライブ出身。ゆず・いきものがかり・コブクロ・ÝUI　他多数

事業計画

【2019 年 8・9・10 月】

①事務局の立ち上げ　　合同会社 NY 2× 横浜デジタルアーツ専門学校（岩崎学園 G）事務局機能の開設（住所・電話・メールアドレス・HP の開設）
②路上ライブ場所の調整　　横浜市・警察署・事業者等の調整（1 日 10 か所　40 チーム）
③実施日程・時間の調整　　2020 年 3 月 14、15 日の 2 日間（11時～16 時）
④みなとみらいエリアの公園・横浜高島屋前入り口・JR 桜木町駅の駅前広場・等 10 カ所
⑤公共の施設活用の認定証の内容の検討。発行の検討。男女を問わない若者の参加者の応募方法の検討
⑥HP・Twitter・facebook・ÝouTube・Tik Tok 等のケータイアプリを含めた告知

【2019 年 11・12 月】

①参加者の募集　　市内及び近郊ライブハウス／リハーサルスタジオ／楽器店／大学・短大・専門学校の音楽サークル／告知チラシ（参加者募集も兼務）配布　告知チラシ 3 万部　告知ポスター 1 万部作成
②公共の賛同会社募集　　JR 横浜支社／地下鉄ブルーライン／相鉄／神奈中バス
③事業体の協力募集　　神奈川新聞／テレビ神奈川／ FM ヨコハマ／飲料メーカー／ LINE ／岩崎学園グループ／公共の施設への協力のお願い／若い人が集まる所
④横浜市近郊エリアへの告知
⑤告知の年内の徹底。紙。SNS。
⑥出演者・最終審査会の実施　　審査委員長他、審査員の決定及び審査

【2020 年 1・2 月】

①参加者の決定・認定証の発行・路上ライブ参加者の演奏場所、時間の決定

【2020 年 3 月 14 日（土）・15 日（日）】

第 1 回ヨコハマ・路上ストリートライブ 2020　開催 ／ 主催　ヨコハマ路上ライブ　プロジェクト 2020

問合先

合同会社NY2　　代表者氏名　矢 作　修

〒220-0072　神奈川県横浜市西区浅間町 1-4-4 小泉ビル 401
TEL : 090-1818-3648（ 担当：代表社員　矢作 修 ）
E-mail : yahagi@cloudnine.co.jp